



佐藤順子さん・39歳  
(寺内字堂ノ沢)

## 男性にも家庭の責任がはたせる社会に

女性は、結婚・出産という  
場面で仕事を選ぶか、家庭  
を選ぶかという岐路に立た  
されます。男性にこうした経  
験はあるでしょうか。

家事や子育て、介護という  
家庭の仕事は、女性がやって  
当たり前なのに、男性は手伝  
っているくらいのスタンスで  
しょう。育児や介護などの家  
庭的責任が女性に重くのしか  
かっている状態で、「女性は  
仕事に対する責任感が…」と  
言われても無理な話です。男  
性にも家庭的責任を同じよう  
に持つてほしいと思います。

ようです。家族ですらなかな  
か評価してくれない家事とい  
う仕事に取り組む時、お互い  
感謝の気持ちが大切でした。  
コミュニケーションが夫婦の  
バランスを保ってきたのかな。

私も経験したことですが、  
「仕事を一度辞めて、子ども  
が大きくなってから再就職」  
というのは現実すごく厳しい  
です。できれば、あらゆる支  
援を使ってでも仕事を続けて  
ほしいと思います。人間のト  
ータルな生き方の中で、経済  
的な自立はやっぱり大切な要  
素です。

我が家の家事と育児は、や  
れる人がやれるときにしま  
す。お互い仕事をしているこ  
とで、分担の体制が築かれた

働く女性と男性がともに家  
庭の責任を持てるためには、  
むしろ男性の働き方を再考す  
る社会の仕組みが必要ですね。



佐藤綾翁さん・28歳  
(牛島西三丁目)

## 男女の役割から、夫婦の役割へ

夫婦共働きで、一歳七か月  
の娘がいます。一緒に住んで  
いる義母も仕事がありますか  
ら、子どもは保育園のお世話  
になっています。

子ども中心の生活リズム  
で、仕事から帰ってくると家  
は戦場です。ご飯を食べさせ  
たり、お風呂に入れたり。手  
の空いている人がやらない  
と、家の中がうまく機能しな  
いので、私も自然と家事をす  
るようになりました。結婚す  
るとき、育児・家事は半分ず  
つねと約束した覚えがあり  
ますが、機械的な分担は能率  
が悪く、お互いにイライラが  
募ってしまうことが多くて。  
彼女は産休明けすぐに職場  
復帰。時には私が保育休暇を

とって保育園に迎えにいった  
り、病院につれていったりと  
いうこともありました。職場  
の理解にも助けられました。  
家事や育児が自然と生活の  
流れになっていく一方、引き  
かえに自分の時間はありませ  
ん。子どもと遊んであげたい  
し、自分の時間もほしい、心  
の葛藤に悩まされています。

男ゆえに職場の重圧に悩  
み、女ゆえに家事・育児に縛  
られ社会に進出できないとい  
う具合に、今の男女は疲弊し  
ているように思います。互い  
に理解・協力し合うことで、  
家庭に戻り社会に出る。これ  
までの男女の義務は淘汰さ  
れ、夫婦の役割と認識する社  
会になってほしいですね。



パネルディスカッションの様子



名取はにわさん

性の枠組みに縛られず、本  
来の能力や個性を外に出し  
ていく大切さを話しました。  
続くパネルディスカッシ  
ョンでは、県内各地区で開  
かれた男女共同参画をすす  
める話し合いの様子を紹介。  
「男女共同参画社会には制度  
と意識の改革、そして女性  
の自立が必要」「パートナー  
シップは男女の間だけに存  
在するのではなく、親子や  
障害者など、いろんな人間  
の間で生まれるべきこと」  
「秋田の男性は照れ屋さんが  
多いと思う。もつと素直に  
感情を表現しては…。活発  
な意見交換に、関心の高さ  
がうかがえました。」